

JUNICHI NAKAHARA

中京

姫路文学館リニュー
ーアルオープン記念特別展
それいゆ創刊
70周年記念

—美しく装うことの大切さ—

淳一展



「それいゆ」第31号「秋号」(1954年)

2016年
10/1(土)→12/4(日)

■会場／姫路文学館 北館

- 開館時間／午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 休館日／毎週月曜日(ただし10月10日は開館)、10月11日(火)、11月4日(金)・24日(木)
- 観覧料／一般600円 大学・高校生400円 中学・小学生200円
※20名以上の団体は2割引 ※常設展示も観覧可
- 主催／姫路文学館
- 監修・協力／株式会社ひまわりや
- 企画協力／七彩社
- 後援／朝日新聞姫路支局 神戸新聞社 産経新聞社 サンテレビジョン
播磨時報社 播磨リビング新聞社 姫路ケーブルテレビ 姫路シティFM21
毎日新聞姫路支局 読売新聞姫路支局 ラジオ関西

HIMEJI CITY MUSEUM OF LITERATURE



姫路文学館

窓辺に一輪の花を飾るような心で、 この「ソレイユ」を見ていただきたい。

—「ソレイユ」第1号(1946年)—

女性誌「ソレイユ」が創刊されたのは、食糧や物資の不足が続く終戦の翌年でした。

外見だけではなく内面も含めた、本当の意味で美しい暮らしを知る本を作りたい——独自の美意識で構成された誌面には、服装のおしゃれだけではなく、インテリアの工夫や、文学作品の紹介等も掲載され、夢を求めている女性たちの強い支持を得ました。

幅広い仕事を通じて、女性の意識とライフスタイルの向上を訴えた中原淳一。その作品は、現代においてもなお新鮮で、新たな人気を呼んでいます。本展では、中原がプロデュースした雑誌や、様々な視点で描かれたスタイル画の原画等を展示し、そこに込められた思いに迫ります。

JUNICHI NAKAHARA



中原淳一 44歳頃(1957年頃)

PROFILE

中原 淳一

なかはら じゅんいち (1913年～1983年)

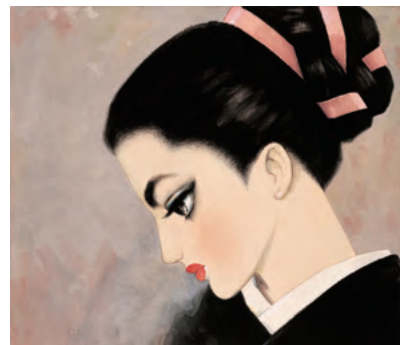
香川県生まれ。雑誌「少女の友」の人気画家として一世を風靡する。終戦翌年の1946年に雑誌「ソレイユ」を創刊。続いて「ひまわり」「ジュニアソレイユ」などを発刊し、夢を忘れがちな時代の中で女性たちに希望と憧れを与えるカリスマ的存在となる。そのほか、イラストレーター、ファッションデザイナー、人形作家、スタイリスト、インテリアデザイナーとしても才能を発揮し、幅広い分野で時代をリードする先駆的な存在となる。



「ソレイユ」ばたん 1955年(1955年)



「ジュニアのための ジュニアの三つの服 ソレイユ」第28号(1953年)



「ソレイユ」第36号 冬号(1955年)

© JUNICHI NAKAHARA / HIMAWARIYA INC.

ソレイユ 創刊70周年記念イベント

ギャラリートーク

株式会社ひまわりや代表の中原利加子氏が、展示作品について解説します。

日時 / 10月1日(土)午前11時～12時
会場 / 姫路文学館特別展示室(北館3階)
講師 / 中原利加子
参加費 / 特別展示観覧券が必要です。

オリジナルレターセットを作ろう 要申込

工夫しだいで生活を楽しく「ソレイユ」での提案も紹介しながら、素敵なレターセットを手作りします。

日時 / 10月23日(日)午後2時～午後4時
会場 / 姫路文学館講堂(北館3階)
講師 / 成広のり子(画家・絵本作家)
定員 / 30名(参加費 / 1,000円)

「オリジナルレターセットを作ろう」お申し込み方法

ハガキ、FAX、ホームページの申込みフォームで、郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、電話番号を記載して姫路文学館までお送りください。※10月12日(水)必着

シャンソンコンサート

中原淳一は日本のシャンソン普及に貢献。彼が訳詩を手がけた曲も織り交ぜて、魅惑のシャンソンの世界をお楽しみいただけます。

日時 / 11月12日(土)午後2時～3時
会場 / 姫路文学館講堂(北館3階)
出演 / 山田直毅(ヴォーカル)、小林俊介(ピアノ&パーカッション)
定員 / 150名(当日先着順。会期中の特別展示観覧券の半券が必要です)

音楽とトークで楽しむ 「ソレイユ」の時代

誌面を彩ったスターたち、憧れの洋楽・映画音楽など、和洋とりまぜた名曲と軽快なトークで、中原淳一が活躍した時代を振り返ります。大正期の和風建築で心に残るひとときを。

日時 / 12月3日(土)①午前11時～②午後2時～(約1時間)
会場 / 姫路文学館望景亭
出演 / 三浦紘朗(アナウンサー)
定員 / 各回先着50名(参加無料)



いつでも参加OK!!

気分はファッションデザイナー! /
ぬり絵コーナー

中原淳一のスタイル画に好きな色を塗ってみましょう。

同時開催

姫路文学館 企画展

あの日のこどもたち

—播磨の文人たちの少年時代—

10月1日(土)～12月24日(土)

姫路市立美術館 ☎079-222-2288

ジャンル・ペインティング再見 画家を魅了した光景

9月3日(土)～10月23日(日)

姫路市立美術館 ☎079-267-0301

'15 日本のガラス展 挑戦する現代ガラス

10月22日(土)～12月24日(土)



アクセス

- JR山陽電鉄姫路駅より神姫バス9・10・17・18番のりばで乗車6分、「市之橋文学館前」下車、北へ徒歩4分。
- 城周辺観光ループバスで乗車10分、「清水橋(文学館前)」下車、西へ徒歩3分。
- 山陽自動車道姫路東IC.あるいは姫路西IC.下車約20分。姫路バスバス中地ランプ下車約15分。



姫路文学館
HIMEJI CITY MUSEUM OF LITERATURE

〒670-0021 姫路市山野井町84番地
TEL.079-293-8228
http://www.himejibungakukan.jp/